



令和5年6月1日

6月 ちびっこの森通信 vol.73

☆☆今月のテーマ☆☆



- ・梅雨の時期を健康で快適に過ごす
- ・戸外に出て体を思いきり動かしたり、身近な生き物に触れ楽しみ遊ぶ。



ひよこぐみ(0歳児)



このところの朝夕と日中の寒暖差は基礎体力が未熟なひよこ組の子には大変ですが、園生活のリズムにも馴染んで元気に過ごしてくれているのが何よりと感じています。先日、園の遠足がわりのハイキングに出掛け、公園デビューを果たしました。公園の芝生で季節のシロツメクサやタンポポ鑑賞をしたり、バギーの園内散策(?)を楽しみました。他には、園内で読み聞かせする絵本の中でも、「いないいないばあ」がお気に入りのようで最後の決め台詞「ばあ」ではとびっきりの笑顔と拍手に癒される日々となっています。これから除々に雨空で室内活動が増えてくるでしょうが、リズム遊び等で心も身体もウキウキできるようにしていきたいと思います。



うさぎぐみ(1歳児)



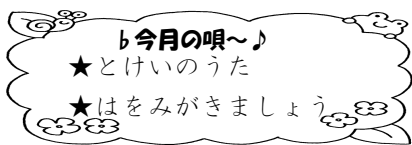
新年度で新たに加わった「うさぎ組」のお友だちは当初、不安な気持ちから落ち着かない日々を過ごしていましたが、ようやく園の雰囲気やお友だちの関係性もできて笑顔で過ごしてくれているのが何よりと感じています。先月は遠足代わりにいつもとは違う公園にハイキングに出掛けました。園内にはトーテンポールのようなインディアンを模したフレームのブランコがひと際存在感を示すように配置され、鉄棒やすべり台とそれぞれの遊具で楽しみました。また、草むらに目を凝らして虫探しに没頭する子もいたり楽しみもいろいろのようでした。また、先々月は都合でお休みだった英語教室では久々にジェイソン節の英語に染まり、楽しいひとときとなりました。園生活に慣れたこともあり、これからいろんな体験・経験ができるようにしていきたいと思います。



ぱんだぐみ(2歳児)



園の生活リズムがしっかりと身についた「ぱんだ組」の子たちは、登園してから自分でする(食具などの給食セット、ハンドタオルをかけた、水筒をカゴに入れる、など)身支度をスムーズにこなしていくようになってきています。中には、「俄か先生」的存在の子が「これはここだよ」と登場する場面もあったりと、いい刺激をし合いながらの成長を遂げているのは何とも頼もしい関係性と感じています。先月は清々しい気候の下、ハイキングでは健脚で目新しい公園にて非日常のひとときを楽しみ、地元で交流させていただいている老人施設のお招きで新玉ねぎの収穫体験をさせていただくなど、活動的で充実した月となりました。一人ひとりの自我確立も進み、他の子の存在が認識できる月齢となり、関係性を仲介できるようにしていきたいと思います。これから不快指数が高まる季節ですので体調管理をしながら元気に過ごしていきたいと思います。



♪今月の唄♪

★とけいのうた

★はをみがきましょう

～保育のポイント～

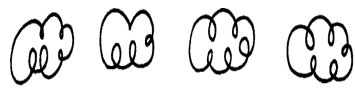
今回は脳の「右脳」と「左脳」について「右脳教育」で子どもは変わる(七田眞著)を参考にお伝えしたいと思います。これまで学校では(目に見える左脳の機能の)理性的、認知的発達に着目しがちで、(目に見えない右脳の)直感的、創造的発達の重要性は認識していても取組みとしては遅々として進まないのが現実でした。ところが、20世紀後半に医学、生理学、とりわけ脳科学の分野で目を見張る研究成果が見られ、1981年、カルフォルニア工科大のロジャー・スペリー教授のノーベル賞受賞を機に左脳と右脳の2つの機能の分化させる発見がなされるようになってきました。これからの学校(保育)教育には、知性と直感、心と体、理性と感情の統合が大切と言えます。科学の進歩で左脳は脳の下層部との連結が薄く、右脳はイメージの発生源である脳の深層部と深く繋がっていることから頭在意識の左脳と潜在意識の右脳との動きの違いも明らかになってきました。脳には左脳の電気系統、右脳のホルモン系の2つの情報回路があり、その違いから前者は人体の細胞や組織に対し微弱な効果しか発揮できず、後者は強大な働きができることも確認できました。スポーツ選手が困難に直面した際、イメージトレーニングで壁を乗り越えた、という話これは実証することはないかと思えます。特に、右脳が働きやすい時期が0～6歳で、その後は動きにくくなるのも分かっていたことから右脳の働きに着目し、取組んでいきたいと思えます。



～給食だより～



季節は清々しい風が吹き抜けて過ごしやすい春からぐったりする厳しい暑さの夏へと移ろう前に来るのが梅雨。これは春に芽吹いた草木が「恵みの雨」で成長に必要な養分を吸収するのに大切な時期となっていますが、人間にとっては気温上昇とジメジメ感たっぷりでの食欲減退となりやすいものです。そんな時には、この時期に旬を迎える美味しい魚パワーで元氣チャージをし厳しい夏を乗り越えていこうにしましょう。まずは、当地では瀬戸の小イワシが有名で刺身でも天ぷらでも食されますが、血液をサラサラにするEPAを豊富に含んだ丸々と肉厚のイワシを堪能しましょう。年中出回っている感じのアジですが、サイズは小さめですが、凝縮した味わいのアジにはたくさんのアミノ酸で免疫カアップにつながります。また、脂ののったイサキは具沢山の薬味のカルパチョがおすすめ。こちらビタミンE効果で免疫カアップや動脈硬化防止に最適です。堤防などで気軽に釣れるキスは淡泊で優しい味わいなので魚嫌いの子にも挑戦しやすい魚。こちらはお酢と野菜たっぷりて体に優しい南蛮漬けがおすすめで高たんぱくで低カロリーなので消化吸収がよく体力回復に効果的です。このように旬な魚で梅雨の食欲減退期を乗り切り、食事の欧米化からくる生活習慣病の予防にも繋がることから魚食を見直す、いい機会になればと思います。



～行事予定～

- ・歯と口の健康週間の会…2日
- ・リズム教室 …6日
- ・時の記念日の会…9日
- ・英語教室…13日
- ・体操教室 …14日
- ・身体測定…15日
- ・誕生会…21日
- ・内科検診…22日
- ・音楽会(2歳児)…26日
- ・避難訓練…27日
- ・歯科検診…30日

